

# 上空から見た東播海岸の変遷

ひがし はり ま こう      はやし ざき ぎょ こう  
(東播磨港付近～林崎漁港付近)

戦後すぐの昭和22年には海岸のところどころに小規模な突堤が見られる程度です。

高度成長期の昭和49年には、昭和44年から開始された東播磨港の埋め立てや海岸沿いに建ち並ぶ住宅などにより都市化が進んでいます。

昭和62年になると、沖合に離岸堤が整備され、養浜による砂浜や突堤の整備が進んでいます。

昭和22年



昭和49年



昭和62年

